

アルゴリズム

視点 P から複数の単壁をみる時の面積の計算方法

I 1 から n までの番号がついた n 個の単壁 $A_k (k=1, \dots, n)$ を考える。1 から 2^n までの間の数を m とする。m の 2 進数標記が例えば $2^a+2^b+2^c$ ならば m に集合 $\{a+1, b+1, c+1\}$ を対応させる。 $a+1, b+1, c+1$ は 1 から n の数であり、3 個の単壁が選ばれる。

$$@m = \{a+1, b+1, c+1\}, \partial m = 3$$

数 m に対して ∂m 個の単壁 @m が選ばれたとする。

視点 P から見える、この j 個の単壁の共通部分を考えてそれを T_m とし、その面積を $S(T_m)$ と表わす。

$$T_m = \bigcap_{k \in @m} A_k$$

$$S(T_m) = s\left(\bigcap_{k \in @m} A_k\right)$$

視点 P から見える n 個の単壁の壁面の面積 S は

$$S = - \sum_{m=1}^{2^n-1} (-1)^{\partial m} s\left(\bigcap_{k \in @m} A_k\right) = - \sum_{m=1}^{2^n-1} (-1)^{\partial m} S(T_m)$$

∂m 個の単壁 $A_k (k \in @m)$ の共通部分の求め方。

$\partial m = j$ とすれば

$@m = \{k_1, k_2, \dots, k_j\}$ と表わされる。

$$T_m = \bigcap_{k \in @m} A_k = A_{k_1} \cap A_{k_2} \cap \dots \cap A_{k_j}$$

$A_{k_1} \cap A_{k_2} \cap \dots \cap A_{k_j}$ を求めるために、はじめに A_{k_1} をとり、次に $A_{k_1} \cap A_{k_2}$ を求め、その結果と A_{k_3} の共通をもとめるというように続ける方法がある。

従って 2 個の単壁の共通部分を求めることが基本である。

与えられた任意の 2 個の単壁 A, B の共通部分は

- 1) ない (空)。(単壁 0 個)
- 2) 単壁 1 個
- 3) 単壁 2 個 (排反な 2 個の単壁が繋がっている)

のいずれかである。

はじめに A_{k_1} を処理配列の 1 番目におく。

つぎに A_{k_2} を仮の位置におき $A_{k_1} \cap A_{k_2}$ を求める。

- 1) $A_{k_1} \cap A_{k_2} = \emptyset$ (空) とき $T_m = \emptyset$ (空)、 $S(T_m) = 0$ として終了する。
- 2) $A_{k_1} \cap A_{k_2}$ が 1 個の単壁 A_x のとき A_x を処理配列の 1 番目に置き換える。

3) $A_{k_1} \cap A_{k_2}$ が排反な 2 個の単壁 A_x 、 A_y のとき A_x 、 A_y を処理配列の 1 番目と 2 番目に置く。

これで終了の場合は

2) のときは $T_m = A_x$ であり、 $S(T_m) = S(A_x)$ が成り立つ。

3) のときは $T_m = A_x + A_y$ であり、 $S(T_m) = S(A_x) + S(A_y)$ が成り立つ。

これで終了しない場合は

2) のときは A_{k_3} を仮の位置におき同様の処理を続ける。

3) のときは A_{k_3} を仮の位置におき $A_x \cap A_{k_3}$ と $A_y \cap A_{k_3}$ を求める。

$A_x \cap A_{k_3} = \emptyset$ かつ $A_y \cap A_{k_3} = \emptyset$ のとき $T_m = \emptyset$ (空)、 $S(T_m) = 0$ として終了する。

$A_x \cap A_{k_3} = \emptyset$ かつ $A_y \cap A_{k_3} \neq \emptyset$ のとき $A_y \cap A_{k_3}$ の処理をおこなう。

$A_x \cap A_{k_3} \neq \emptyset$ かつ $A_y \cap A_{k_3} = \emptyset$ のとき $A_x \cap A_{k_3}$ の処理をおこなう。

$A_x \cap A_{k_3} \neq \emptyset$ かつ $A_y \cap A_{k_3} \neq \emptyset$ のとき $A_x \cap A_{k_3}$ と $A_y \cap A_{k_3}$ の処理をおこなう。

処理の結果、処理配列は 1 個から 4 個のいずれかになる。それに合わせて処理配列の要素を適宜移動、削除、追加を行う。

処理配列の個数が 0 になった場合、 $T_m = \emptyset$ (空)、 $S(T_m) = 0$ として終了する。

処理配列の個数が 1 または複数の場合、その集合の和が T_m 、面積の和が $S(T_m)$ である。

II 2 個の単壁の共通部分の求め方。

2 個の単壁の位置関係を調べる